

第6学年体育科（保健領域）学習指導案

1. 単元名 病気の予防

2. 単元の目標

（1）体育科としての目標

○病気の原因には病原体、環境、生活の仕方、体の抵抗力がかかわり合って起こることに気づき、病

気の予防に対する関心を高めることができる。

○病気を防ぐには、それぞれの原因に応じた予防法を理解することについてその手立てを考えて、自分の生活への生かし方を工夫することができる。

○病気は、病原体、環境、生活行動、体の抵抗力などがかわり合って起こることを、経験と結び付け

て理解し、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解できるようにする。

（2）汎用的スキル

○様々な要因で起こる病気の予防について多様な視点から考えることができる。（批判的思考力）

（3）態度・価値

○病気の予防と望ましい生活習慣の関わりについて学んだことをもとによりよい生活づくりに向け
て努力しようとする（正しくあろうとする心）

3. 児童の実態

本学級の児童は、学校給食後の歯みがきタイムで、自分から進んで歯みがきをする児童が多い。また、幼少期からの歯みがきの習慣の定着によりむし歯を持つ児童は少ない。しかし、歯肉炎と診断された児童が全体の53%ということでクラスの半分以上いることがわかった。つまり将来的に歯周病を患う可能性のある児童が多いということである。このことから、現在、むし歯の状況はよくても、将来的に、自分の歯の状況がよいままであるとは決していえず、これからの日常生活において、児童の歯・口の健康づくりには正しい知識による予防の理解が必要であるということがわかった。

4. 単元について

①教科から見た特性

本単元は、病気の発生要因や予防の方法について理解できるようにし、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に与える影響について理解することがねらいである。児童のこれまでの病気の経験を授業の中で取り上げるなど、身近な生活における病気の予防を中心について学ぶ。むし歯については、予防的実践の視点で低・中学年で受けた保健指導の内容を踏まえて扱う必要があるが、歯周病についての知識も合わせて学ぶことで、いつまでも丈夫な歯を保つにはどうすればよいか、より深く考えることができる。

②汎用的スキルや態度・価値育成の観点からみた特性

養護教諭や学校歯科医の専門性を活かして、児童が自分の歯みがきにおける生活習慣の改善など多様な視点から考えたり、丈夫で健康な歯を保つために、正しい方法や生活習慣作りを目指して努力したりしようとする態度を育む。

5. 単元計画と資質・能力を育成する主な手立て（全8時間 本時5／8時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (1時間)	○病気は病原体、環境、生活行動、体の抵抗力などが関わって起こること、病気から体を守る仕組みについて考える。	○問題解決力 ○協働する力	○風邪にかかった時の体験レポートをもとにその際の共通点からその原因をグループ学習で探求する（ディスカッション：協働する力）
第2次 (2時間)	○インフルエンザなど病原体が主な要因となって起こる病気の予防について考える。	○問題解決力 ○批判的思考力	○養護教諭とのTTにより、予防接種や体の抵抗力を高める生活について事例をもとに比較する（ケーススタディ：批判的思考力）
第3次 (2時間)	○むし歯や歯周病、健康によくない生活行動が要因となって起こる病気の予防について考える。	○問題解決力 ○批判的思考力 ○正しくあろうとする心	○むし歯や歯周病にならない生活について様々な視点で考える（グループ学習：批判的思考力）
第4次 (2時間)	○喫煙、飲酒薬物乱用と健康について考える。	○問題解決力 ○批判的思考力 ○よりよい社会への意識	○養護教諭と連携して薬物における正しい知識についてQ&A方式で正しい知識を身に付ける（問題解決力）
第5次 (1時間)	○地域の保健に関わる様々な保健活動について考える。	○よりよい社会への意識	○地域の保健センターの活動案内資料及びインタビュー映像（知識を活用した学習活動：よりよい社会への意識）

6. 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ・むし歯や歯周病になりにくい生活の仕方との関係について主体的に考えることができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て◆評価
導入 5分	○歯科検診の学級の状況を知る。(養護教諭TT) ・むし歯を持っている子はほとんどいない。 ・でも歯周病になるかもしれない歯肉炎は53%もいる。 ・どんな関係があるのだろうか。 ・正しい歯みがきはしているはずなのにどうしてだろう	◇健診結果をデータとして円グラフにして、むし歯は少ないが歯肉炎が多いという事実から問題意識を持たせるブレインストーミング(批判的思考力、メタ認知力)
展開 30分	○本時の学習課題を知る。 むし歯や歯肉炎(歯周病)になりにくい生活のしかたを考えよう。 ○歯周病の起こり方について考える。 ・歯みがきがしっかりとできていないからなのだろう。 ・口の中が清潔ではないからかな。 ○歯周病の起こり方について理解する。(養護教諭TT) ・肉が赤く腫れて、ときどき出血する状態を歯肉炎なのだね。 ・歯が支える骨まで冒された状態を歯周炎という。 ・口の中が歯肉炎や歯周炎という状態になることを歯周病ということが分かりました。 ○むし歯や歯周病になりにくい生活のしかたとして、どのようなことが大切なのか考える。 ・グループで話し合って結論を出そう。 ・まずは自分で考えてから意見をまとめよう。 ○自分の考えを元にして、グループで話し合いをする。 ・食後に歯みがきやうがいをする。 ・おやつに砂糖の入っているもの、歯にくっつきやすいものはなるべくとらない。 ○グループ発表をする。(ホワイトボード掲示板) ・あのグループの内容は同じ視点だね。 ・歯みがきの仕方は同じだけど食後すぐという点で違うね。 ○学校歯科医の先生からのアドバイスを聞く。(資料) ・歯ブラシの先を使って、歯と歯の間や、歯と歯茎の境目を磨く ・おやつをだらだらと時間をかけて食べない ・かみごたえのあるものを食べることも重要である。	◇養護教諭や学校歯科医の資料をヒントに、自らの生活においても起きている口腔内の現象をもとに歯周病の原因を予想する。(批判的思考力) ◇主体的な課題解決を目指してグループ内で協働しながら課題解決を目指す場の設定(グループディスカッション:問題解決力、協働する力) ◆歯周病になることを自分事としてとらえ、まずどのような生活が大切なのか、自らの考えをまとめ、伝えることができる。(グループ内発表:問題解決力、伝える力) ◇グループ発表の掲示物をもとに共通点や相違点を整理して、自分なりの考えをまとめる。(ホワイトボードによるプレゼン:協働する力、伝える力)
整理 10分	○本時のまとめをする。 ・歯周病にならないためにどんな生活をしたらよいか分かりました。 ・歯みがきだけに注目していたけど、見方を変えて食べ方、食べ物なども大切だということが分かりました。 ○次時の予告を聞く。	◇ワークシートをもとに学習で理解したことを実践的に取り組むための手立てを自ら決めてグループ内で発表する。(伝える力) ◆これまでの自分を振り返りこれからの自分の目指す口腔内の健康に見通しを持たせる。(発表、ワークシート:正しくあろうとする心)